

能舞音楽劇

# 義経記

「人は皆、本当の絆がそこにあって、己が気づいていない、ただかも知れない。」  
あなたも、心震える新たな源義経の伝説を知る…。  
源義経の劇的な生涯を描いた「義経記」を通じて、今も日本人の根底にある「想い」を現代に伝える。デーモン閣下の監修による脚本と朗読、そして歌。  
上妻宏光の書き下ろしの楽曲と演奏、山井綱雄の独自の能舞。ジャンルを異にする三者が新たな解釈で表現し、歴史や伝統に根ざしながらも、エンターテインメント性を伴った新日本様式で表現するのが、能舞音楽劇「義経記」である。



デーモン閣下

上妻宏光

山井綱雄

2021年 2月14日 日 開場 午後 2:45  
開演 午後 3:30  
一関文化センター 大ホール

全席指定 | 一般 5,000円 小中高生 2,500円 10/29(木) チケット発売

※ 当日各 500円増 ※ 6歳児未満のご入場をお断りします。

※ 当日は駐車場が混雑します。近くの市営・民間駐車場のご利用もご検討ください。  
※ お越しの際には時間に余裕をみて、お早めにお出かけください。

【チケット購入】

一関文化センターで以下にて取扱います。

① 窓口購入 ② 電話予約 ③ ネット予約

ネット予約は空席状況をみながらご予約いただけます。

※ ご利用には無料会員登録が必要です。

※ フィーチャーフォンはご利用いただけません。

チケット・お問合せ [ 8:30 ~ 17:15 ]

一関文化センター TEL:0191-21-2121



<https://ichi-bun.com>



- ・マスクの着用、咳エチケットの徹底をお願いします。
- ・ご来場者の把握のため氏名および緊急連絡先をご提出いただけます。
- ・入場者から感染が発生した場合には、提出いただいた情報を保健所等の公的機関への提供が必要となりますことをご了承ください。
- ・入場時に検温を実施いたします。37.5度以上の発熱がある場合や、咳や咽頭痛などの症状がある方、体調不良の方はご入場をお断りし、チケットの払い戻しを行います。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、公演が延期または中止となる場合がございます。

# 義経記

能の原典として名高い「義経記」を題材にし、  
デーモン閣下、上妻宏光、山井綱雄によって創作される新たな音楽劇



デーモン閣下

魔暦紀元前16(83)年、ロックバンドの姿を借りた悪魔の集団「聖飢魔II」の謳・伝導方として現世侵寇。以後遍く世情媒体で長期蔓延。  
魔暦前5(94)年、富士写真フィルム「写ルンです」CMで広告大賞等を受賞。和の伝統芸との共作は昭和時代からのライフワーク。上海万博で「文化交流大使」も執務。当「義経記」は8年、尺八奏者・三橋貴風氏との主催定期公演「邦楽維新Collaboration(古今東西歌舞音曲描と朗読)」は20周年で85回に至る。  
「好色萬男」「When The Future Loves The Past」「EXISTENCE」「うただま」等作品で純邦楽器を重用、相模探求3百年間を含め「和文化」アーティストたる。ソプラニスタ・岡本知高氏との異能編共演「悪魔の森の音楽会」も全国で展開。  
魔暦21(19)年、厚労省「上手な医療のかかり方」大使。通算49作目の音楽アルバム「うた闖険-劇団☆新感線劇中歌集-」を発表。魔暦22(20)年、警察庁「地球交通事故撲滅本部本部長」役で広告に協力。秋冬、聖飢魔II 地球デビュー35周年・期間限定再集結「ビデオ黒ミサ&生トークツアー「特別給付悪魔」」を全国15会場で遂行。広島県がん検診啓発特使、早大相模部特別参加(共に9期目)。TBS-TV「ひるおび!」(毎水)に出演。  
《公式ウェブサイト》<http://demon-kakka.jp/>



上妻宏光

茨城県出身。6歳より津軽三味線を始め、幼少の頃より数々の津軽三味線大会で優勝する等、純邦楽界で高い評価を受ける。  
2000年に本格的にソロライブ活動を開始し、ニューヨーク、ニューオリンズで地元ミュージシャンとセッションも行う。帰国後デビューアルバムの制作に入り、1stアルバム「AGATSUMA」と6thアルバム「〇-エン-」は日本ゴールド・ディスク大賞の純邦楽アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2ndアルバム「BEAMS ~AGATSUMAII」は全米リリースされ、アメリカ、EU、アフリカ等、世界30ヵ国以上で公演を行っている。  
2013年には安倍内閣総理大臣主催の「TOKYO2020公式夕食会」、「第5回アフリカ開発会議 公式首脳晩餐会」において、日本を代表して演奏を披露。  
近年では津軽三味線奏者として初めて歌舞伎の本興行(主演：市川海老蔵)にも参加。舞台、映画、ドラマ、日本国内外アーティスト等の様々なシーンへの楽曲提供もしている。  
2017年にはカザフスタンでの「2017年アスタナ万博」にて、日本を代表しプロデュース公演を行った。  
ジャンルや国境を越えたボーダレスな活動を重ねながら、伝統をふまえつつ時代に応じた感性を加え、津軽三味線の「伝統と革新」を追求し続けている。  
また日本全国の小学校において日本の伝統音楽の魅力を伝える授業を行っており、次世代への文化伝承にも力を注ぐ新世代津軽三味線奏者の第一人者である。  
《オフィシャルホームページ》<http://agatsuma.tv/>



山井綱雄

金春(こんばる)流能楽師。  
重要無形文化財(総合認定)保持者。(公社)金春円満井会常務理事。  
79世宗家故金春信高、80世宗家金春安明、富山禮子に師事。金春流能楽師であった祖父の影響で5歳で初舞台。以来数々の大曲秘曲を披露。全国にて能楽公演・講座を多数開催。  
2015年3月アメリカ・ロサンゼルスでの「グラミーミュージアム」にて能楽師初のライブ開催、スコットランド・エディンバラ演劇祭参加、カナダ公演(日本国総領事招聘の文化使節団長として)、「能舞エヴァンゲリオン」発表、洋楽邦楽問わず他ジャンル芸術家との共演共作多数。平成26年度文化庁文化交流使として日本伝統文化の普及と外国文化との交流に尽力。2011年NHK大河ドラマ「江」、2016年NHK大河ドラマ「真田丸」に能主演出演と能楽監修・指導を手掛ける。2017年10月、カナダ・バンクーバーにて現地作曲家オペラ歌手と能オペラ「KAYOI KOMACHI」を共同制作し主演。能とオペラの新しい可能性を開拓。  
能楽最古の金春流1400年の歴史と伝統の継承と、新たな世界への挑戦を続けている。  
《公式サイト》<http://www.yamaitsunao.com>



観劇されたお客様の感想

- ◆初めて能と三味線を生で観て聴いて鳥肌が立ちました。すごい!の一言でした。デーモン閣下の語りと歌声もすごかったです。ラストシーンでは涙が出ました。とても素敵な時間を過ごせました。
- ◆能舞音楽劇とはどのようなものかと思っていましたが、演奏、語り、舞、全てすばらしく本当に来てよかったと思いました。
- ◆ストーリーが理解しやすい構成で内容がスムーズに入ってきました。お能の舞を生で観るのは初めてでしたが、静と動のコントラストの美しさに感動しました。
- ◆初めてこのような舞台を見ました。とても新鮮で見応えがありました。和の良さをとても感じました。このような劇が今後広まっていけばいいなと思いました。

会場へのアクセス

